

広島大学

令和2年度一般入試(後期日程)・
私費外国人留学生入試3月実施

出題の意図

歯学部 歯学科

科目名:小論文

解答の公表に当たって、一義的な解答が示せない記述式の問題等については、「出題の意図又は複数の若しくは標準的な解答例等」を公表することとしています。

また、記述式の問題以外の問題についても、標準的な解答例として正答の一つを示している場合があります。

問1 「みずゞの童謡は、小さいもの、力の弱いもの、無名なもの、無用なもの、この地球という星に存在する、すべてのものに対する祈りの詩だったのです。」と、詩人 矢崎節夫氏は評しています。受験生の皆さんはこの詩を読んで何を思うのでしょうか？

残念ながら現代の社会には、学校でのいじめ問題、カミングアウトできない性的少数者(LGBT)、相模原障害者施設殺傷事件など偏見や差別から生まれる様々な問題が沢山あります。自分が人と違うように、人は皆違ってあたりまえ。自分の良さを認識し、他人の良さを認める“相互理解というやさしさ”がグローバルな社会を生きる我々には、ますます必要となります。“相互理解というやさしさ”は全人的な医療にとっても大切なものです。

これから医療人を目指す受験生の皆さんの金子みずゞ観を問うことによって、将来医療人となるための十分な責任感と豊かな人間性、患者や医療スタッフと良好な対人関係を築くための社会性や協調性を評価します。

問2 本問題は受験生に医療の本質について、考えを問うものです。今後、医療に携わっていくうえで、様々な専門的知識・技術を身に付け、先駆的な医療を追求することは不可欠となります。ところが、そのような時間を過ごしていく中で、技術習得に固執するあまり、本来の医療の意味を忘れがちとなるのではないのでしょうか。そこで、医療を提供してもらう立場（患者）と医療を提供する側の立場（医療者）、およびその関係から、医療に求められているものは何か、そして、どのような形で医療を提供すべきかといった、医療技術では解決されない医療現場の問題について論じてもらいます。

医療技術を熟知する医療者の考えは正しいものであり、その方針に従うべきといった考え、患者が望む医療をその通りに実践すべきといった考えなど、さまざまな意見があるかと思われます。治療を受けている時間も患者さんの人生であるとする、各患者にとって最適な医療は必ずしも提供される医療技術の高さに比例することはありません。そこで、受験生は主観的、及び客観的な見方、さらには、理想とされる医療者像の立場、及び患者の立場から医療の本質を論理的に分析し記述してもらいます。また、医療とはどのようなものであるかを医療者となる前に熟考し、それを心に留めさせることは、今後、本学で学習をするうえで重要であると同時に医療者としての人間性を持ち合わせているかの判断にもつながると考え作成された問題です。

受験生の解答には様々な記述が予想されますが、論理的な思考力、展開力、独創的視点、建設的意見、そして問題解決能力を測ります。また、医療人としての責任感、人間性が読み取れる内容を期待します。